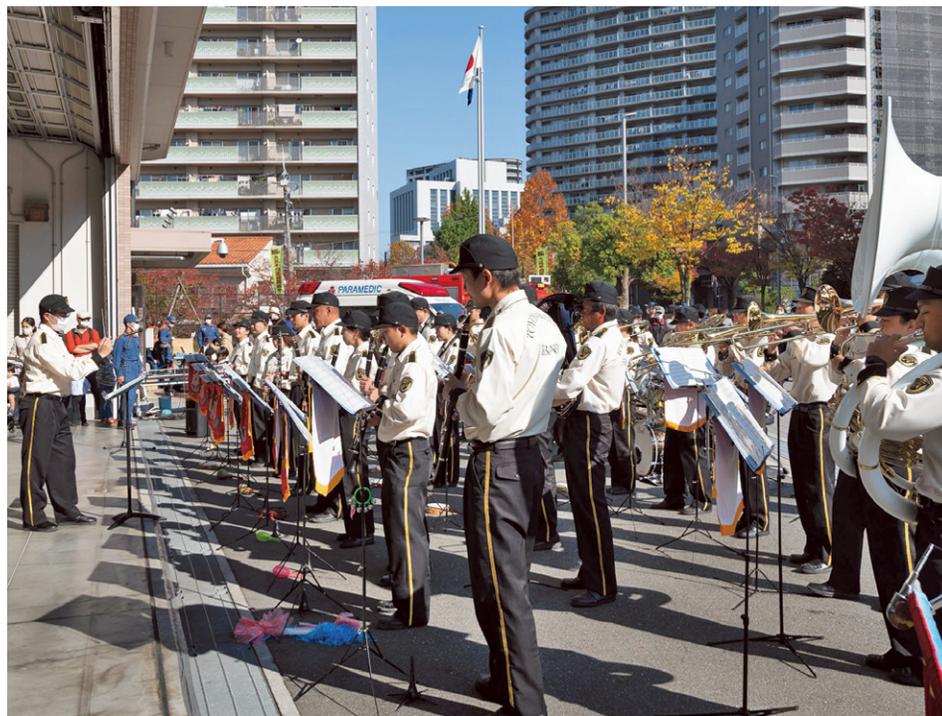


とよなか

市議会のうごき

12月定例会を開き、令和3年度決算の認定や新型コロナウイルス対策関連施策など、市民の生活にかかわる議題について審議し、また一般質問を行いました。



目次

- P2~4 12月定例会の経過
- P5~11 一般質問の要旨
- P12..... 常任委員会の視察報告
市議会からのお知らせ

12月
定例会

令和3年度決算を認定 物価高騰対策支援などの補正予算を可決

11月29日～12月23日の25日間

12月定例会を11月29日に開会し、令和3年度決算関係議案4件を認定した後、物価高騰における福祉サービス継続支援事業の実施などを含む市長提出議案26件及び請願3件を議決して、12月23日に閉会しました。



第1日 (11月29日)	本会議 常任委員長報告、閉会中継続審査案件(決算関係議案)議決、議案上程(補正予算・条例・指定管理者の指定・規約変更に関する協議)、即決議案議決、委員会付託
常任委員会 (12月2日、5日、7日、12日)	建設環境、文教、市民福祉、総務常任委員会 議案審査、請願審査(文教・市民福祉・総務)
第2日 (12月21日)	本会議 常任委員長報告、付託議案議決、請願議決、議案上程(人選)・議決 一般質問(市民フォーラム/日本共産党/公明党①4人)
第3日 (12月22日)	本会議 一般質問(公明党②5人/大阪維新の会)
第4日 (12月23日)	本会議 一般質問(無所属・議会改革/自民新風会)、議案上程(補正予算)・議決

人事

- 固定資産評価審査委員会委員に北野幸子^{きたのさちこ}さんを選任することに同意しました。
- 人権擁護委員に榎本昌子^{えのもとまさこ}さん、伴野多鶴子^{ばんのたずこ}さん、古川博夫^{ふるかわひろお}さんを適任と認める旨答申しました。

請願

豊中市「平和の日」を調査審議する機関設置に関する請願	不採択
「子どもの権利条約」の精神を生かし、子どもたちのための施策充実をもとめる請願	不採択
肥料高騰支援金に関する請願	不採択

可決した予算

- <令和4年度豊中市一般会計補正予算第13号> 補正予算額 1億4,631万1千円
- <令和4年度豊中市国民健康保険事業特別会計補正予算第3号> 補正予算額 327万1千円
- <令和4年度豊中市後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号> 補正予算額 8万円
- <令和4年度豊中市介護保険事業特別会計補正予算第2号> 補正予算額 22万6千円
・人事院勧告に準じて職員給与等を改定するための人件費
- <令和4年度豊中市一般会計補正予算第14号> 補正予算額 10億4,782万7千円
・ふるさと納税による寄附を活用し、豊中市出身のアーティストである矢井田瞳さんと本市を拠点とする日本センチュリー交響楽団とのコラボコンサートを実施
・物価高騰により影響を受けている福祉施設等に対して、事業を安定的に継続するための運営支援として給付金を支給 など
- <令和4年度豊中市国民健康保険事業特別会計補正予算第4号> 補正予算額 490万1千円
・傷病手当金の財政支援の適用期間延長に伴う支給額の増加見込み分 など

- <令和4年度豊中市後期高齢者医療事業特別会計補正予算第2号>(債務負担行為の補正)
- <令和4年度豊中市介護保険事業特別会計補正予算第3号>(債務負担行為の補正)
- <令和4年度豊中市水道事業会計補正予算第2号>(債務負担行為の補正)
 - ・令和5年度予算にかかる契約案件のうち4月1日から履行すべき業務等の準備行為を、令和4年度から進めるため期間と限度額を設定
- <令和4年度豊中市病院事業会計補正予算第3号> **補正予算額 5億5,761万8千円**
 - ・高額な新薬の採用や新型コロナの流行拡大に伴い不足が見込まれる薬品費、原材料費等の高騰に伴う価格上昇等により不足が見込まれる診療材料費 など
- <令和4年度豊中市公共下水道事業会計補正予算第2号>
 - ・猪名川流域下水道原田処理場にかかる電力単価上昇に伴う光熱水費及び動力費2億3,400万3千円 など
- <令和4年度豊中市一般会計補正予算第15号> **4億2,008万7千円**
 - ・妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し、出産や子育てにかかる負担軽減のために給付金を支給

可決した条例

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
職員給与等を改正

市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例
期末手当の支給割合を改正

豊中市個人情報の保護に関する法律施行条例
個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、自己情報の開示にかかる手数料を徴収しないこととするとともに、開示決定等の期限その他所要の規定を整備

豊中市事務分掌条例の一部を改正する条例
危機管理課及び人権政策課を移管するとともに、課及び部の事務分掌を改正

勤務時間及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
子育て部分休暇を新設

豊中市議会議員及び豊中市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
公職選挙法施行令の改正に準じ、市議会議員及び市長の選挙運動にかかる公費負担の限度額を改正

手数料条例の一部を改正する条例
建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令等の改正に伴い、低炭素建築物新築等計画の認定申請手数料等の算定基礎となる床面積の合計の算定方法その他所要の規定を改正

豊中市立幼保連携型認定こども園条例の一部を改正する条例
豊中市立庄内こども園を廃止

豊中市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
市立豊中病院の診療科目の専門性を明確にするとともに、形成外科を診療科目に追加

否決した条例

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
期末手当の支給割合を改正

その他の議決議案

令和3年度大阪府豊中市各経済歳入歳出決算認定について	認定
令和3年度豊中市病院事業会計決算認定について	認定
令和3年度豊中市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定
令和3年度豊中市公共下水道事業会計決算認定について	認定
豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなかの指定管理者の指定について(社会福祉法人大阪府社会福祉事業団)	原案可決
大阪府都市競艇企業団の規約変更に関する協議について	原案可決

※市長提出議案の詳細はこちらをご覧ください。



一般質問の要旨

議員が本会議で、市政運営や政策などについて質問を行いました。その一部を紹介します。

少子化対策としての
施策展開は

問 少子化の将来を見据え、本市の出生率及び転出入者の純移動率を維持するために、どのような施策展開が必要と考えているか。

答 子どもを安心して産み育てられるまちづくりを進めるため、生まれる前からの子育て支援をはじめ、第2子目からの保育料無償化や、小中一貫教育の推進に取り組む。また、子どもやその家庭への相談・支援体制を強化するため、はぐくみセンターの設置、府内中核市初となる児童相談所の設置など、さまざまな施

策を展開していく。さらに、部局横断的な組織として暮らしやすい向上プロジェクトを立ち上げ、地域共生及び子どもとその家庭への支援の2つのテーマについて精力的に検討を進めている。

中核市移行10年
サービスが向上した点は

問 中核市となって10年が経つ。市民・事業者にどのようなサービス向上が図られたか。

答 環境関係では、事業者の規制にかかる手続きの負担軽減のほか、本市の状況に合った事業者への指導や、事故

発生時における迅速かつ機動的な対応により、良好な環境維持につながっている。

保健所については、例えば新型コロナウイルスにおけるワクチン接種やクラスター発生時の対応を効果的・効率的に行い、市民の安全・安心に寄与することができた。

都市計画については、屋外広告物の許可事務を行うこととなり、良好な都市景観の形成に寄与している。



メタバース活用の可能性は

問 ふるさと納税のPRや観光資源のアピール、バーチャル美術館など、メタバースを活用した先進事例が出始めている。本市の特性に鑑みた場合、今後どのような展開の可能性はあるか。また、不登校支援におけるメタバース活用の可能性は。

答 メタバースを活用した自治体のサービスにおいては、学校教育や高齢者リハビリ、文化芸術、バーチャル市役所など、あらゆる分野での活用の可能性がうかがえ、市民サービスの利便性・快適性の

向上、地域の魅力発信につながる手段として期待されている。

不登校支援については、未経験な領域に向かう場合のコミュニケーションやイメージトレーニングに用いる等の活用は可能であると考え、選択肢の1つとして研究していきたい。



まちごと暮らしスクール
今後の展開は

問 南部地域の事業イベントで「まちごと暮らしスクール」のロゴをよく見かけるが、今後の展開のイメージは。

答 「まちごと暮らしスクール」は、南部地域活性化に向けて、まち全体を学びの場と捉え、音楽・スポーツ・食・ものづくりの4つの要素を子どもや大人が体験する取組みの総称である。その旗印のもとで、4つの要素が交わりあいながら、まちにあふれる日常を創っていくことが、南部地域の魅力づくりにつながるものと考ええる。



まちごと暮らしスクールのロゴマーク

地域活性化や地方創生に
eスポーツを

問 自治体においてeスポーツを活用した取組みが広がっている。地域活性化や地方創生の観点から見たeスポーツの活用について、本市の見解は。

答 eスポーツは、地域コミュニティの活性化やまちのにぎわいの創出などにつながる社会的な効果も得られると言われている。今後は、さまざまな形で展開される可能性のある魅力的なコンテンツと認識し、企業や大学などさまざまな主体と連携を図りながら、何らかの形で取組みができないか模索していく。

マチカネポイント
新たな活用は

問 マチカネポイントをマインバーカードと連携して

市民全員に1日1ポイント付与したり、出産祝等の人生の節目にポイントを付与することで、定住化政策につながるれないか。

答 市内在住者への1日1ポイント付与や、人生の節目でのポイント付与などは、地域内の経済循環に好影響を与えることと認識している。一方で、費用対効果や財源の確保などの課題もあることから、施策の実現可能性を慎重に見極めていく。まずは既存の仕組みの中で実現可能なマチカネポイント付与メニューの多様化やチャージ機能の実装などを検討していく。



(仮称)原田緩衝緑地整備
安全対策は

問 航空機進入直下にある(仮称)原田緩衝緑地の公園整備は、安全性が最重要課題である。安全対策について協議調整中とのことだが、どのような対策を講じるのか。

答 公園の構造や使用方法等、安全対策については法令に従い、関係官庁と協議する。現在、安全確保の項目について関係機関との協議を進めており、令和5年3月の整備事業者公募の段階で示す。なお公園は、空港運用時間外は施錠による入場制限を想定している。

避難行動要支援者の安否情報
共有システムの導入は

問 災害時において避難行動要支援者の安否情報を共有するシステムの導入が必要で

はないか。

答 本市では令和3年度に、LINEを活用した災害時における避難行動要支援者の安否確認の実証実験を行った。避難支援等関係者が安否確認を行う中で、関係者同士で安否確認状況を共有することなどの検討を行っている。システムの導入には、個人情報保護の観点から課題があるが、引き続き、災害時の安否確認がスムーズに行えるよう取り組んでいく。

Jアラート発令時
適切な避難場所は

問 Jアラートが発令された場合、市民はどこに避難するのが適切なのか。

答 避難場所については、弾道ミサイルの場合、時間的余裕がほとんどないため、屋外にいる場合は、近くの頑丈な建物や地下へ、屋内にいる場合は、窓から離れるか、窓

のない部屋に移動するよう啓発している。



「アラート」などの緊急情報を放送する防災スピーカー

**古い校舎の窓枠
計画的な改修を**

問 古い校舎には鉄製の重たい窓枠がある。子どもたちの安全・安心面を考慮し、計画的な改修に取り組みべきではないか。

答 学校施設は日常点検を行い、優先順位をつけながら修繕を適切に行うとともに、学校施設長寿命化計画に基づき、窓を含めた改修を計画的に進めていく。窓の改修は改築、大規模改修、長寿命化改修にあわせて実施する予定だ

が、予定がない学校施設については、学校からの改善要望に応じて実施していく。また、令和5年度に同計画の見直しを予定しており、その際に窓の改修についても記載し、計画的な改善に努める。

**PTA役員選出に
人権的配慮を**

問 PTA役員就任の免除を求める際、多くの学校で免除理由を提出することになる。その内容が、同じ保護者である第三者と共有され、協議されることは大きな精神的負担であり、人権的にも課題があるのでは。

答 PTA活動で、第三者に知られたくないプライバシーに関わる情報の提出を強制することはできず、人権の観点からも配慮が必要な事案である。今後は各校のPTAや学校管理職へ、課題の改善に向けた取組みが進むよう発信

していく。

**文部科学省通知による
障害児教育への影響は**

問 令和4年4月に国から、支援学級在籍児童生徒は原則週の授業時数の半分以上を目安に支援学級で授業を受けることや、通級指導教室のさらなる活用などの考え方を示す通知が出された。豊中市障害児教育基本方針及び本市の障害児教育への影響は。

答 一人ひとりの状況に応じた最適な学びを進めることは、今回の通知の有無にかかわらず本市が自律的に取り組むべき課題であることを、校長会議等で学校に伝えていく。本市の「ともに学びともに育つ」教育の理念・方針は、通知を受けて変わるものではない。
通級指導教室は、全校配置に向けて府へ要望するとともに、各学校で活用しながら個

別最適な学びを提供していく。

**兄弟都市沖縄市
修学旅行での交流は**

問 沖縄への修学旅行の事例や感想は。また、令和6年に兄弟都市提携50周年を迎える沖縄市へ立ち寄りしてはどうか。

答 令和4年度は、中学校1校が沖縄県への修学旅行を実施した。戦跡を巡り充実した平和学習となったこと、沖縄の文化や風習に直に触れる体験ができたこと等の感想を聞いている。
具体的な訪問先などは各学



本市が沖縄市に贈呈した少年の像（複製）

校で検討し決定するが、教育委員会として関係部局と連携しながら、兄弟都市沖縄市の情報提供などに積極的に努めていく。

**学校給食の無償化
本市での実施は**

問 全国的に学校給食の無償化が進んでいる。本市でも実施すべきと考えるが、見解は。

答 経済的に厳しい家庭に對しては、就学援助制度による援助の仕組みがあることから、学校給食を無償化することは考えていない。学校給食の無償化は、多額の財源が恒久的に必要なことから困難である。

**学校給食の黙食
いつまで実施するのか**

問 コロナ禍における学校

給食の黙食はいつまで実施するのか。

答 今後の黙食の緩和については、国や府の通知を踏まえ、令和4年12月に市内小中学校へ通知した。内容は、対面で座る場合は1メートルを目安に距離を確保するといった座席の配置を工夫することにも、適切な換気の確保などの措置を講じた上で、教室全体に届くような大声での会話でなければ、児童生徒等間での会話を可能とするものである。

小中一貫校の
デメリット対策は

問 令和5年4月に開校する施設一体型小中一貫校の庄内さくら学園では、同じ時間帯にテスト時間の学年と休憩時間中の学年が混在するなど、さまざまな制限が懸念される。こうしたデメリットについてどう考えているか。

答 施設一体型ならではの、さまざまな工夫を行っているところである。例えば学年ごとに配置する教室にあわせたチャイムの対応を可能とすることや、授業間の休憩時間には異学年とも交流できる時程を設定するなど、運営について職員間での議論・準備を進めている。



令和5年4月開校の庄内さくら学園

(仮称)中央図書館基本構想
具現化計画の内容と名称は

問 (仮称)中央図書館基

本構想を具現化する新たな計画の内容や名称はどのようなものを想定しているのか。

答 令和4年度策定予定の計画では、(仮称)中央図書館基本構想を推進し、中央図書館を核とした新たな図書館サービスを構築するための計画となる。中央館や地域館などの役割の明確化、中央図書館の候補地ごとの新たな施設配置、電子書籍を含む蔵書の充実や滞在しやすい図書館づくりなど、今後のサービス向上策を記載する予定で、未来に向けて図書館サービスを充実させていく内容であることから、計画名称を「豊中市立図書館みらいプラン」とする予定である。

(仮称)中央図書館基本構想
図書館費の目標への考えは

問 (仮称)中央図書館基本構想では、開館の翌年度に、市民一人当たりの図書館費を

2000円に縮減する目標が示されている。教育長は、この目標をどう捉えているか。

答 図書館費の目標については、(仮称)中央図書館を核とした施設再編により、コスト縮減を図るとともに、新たな図書館サービスを構築し、社会の変化に対応しながら市民ニーズに応えられるようサービスの充実を図る。一方で、コスト目標だけでは時代の変化に応じたサービス充実には限界があると感じており、コスト面だけではなく、図書館のよりよい未来につながるマネジメントのあり方についても検討・調整を行っていく。

放課後、休日などの
学校施設の活用は

問 学校関係団体が、放課後や休日など学校教育で使用しない時間帯に学校施設を利用することについて、教育委

員会の考えは。

答 学校施設は学校教育に関わる関係法令等において、学校教育上支障のない範囲内で社会教育やスポーツなどの利用に供するよう規定されている。本市においては、さまざまな社会教育団体、スポーツ団体などが放課後や休日にも学校施設を利用・活用している。



小学生の制服・標準服
メリット・デメリットは

問 本市の市立小学校は全て私服であるが、制服・標準服を指定するメリットとデメリットについて、市の見解は。

答 制服・標準服を指定するメリットとしては、児童も保護者も毎日着用する服に悩まなくてよいこと、流行などに左右されないため、通学のための衣類費用が抑えられることなどが挙げられる。一方、デメリットとしては、成長に応じた購入が必要であること、汚れても頻繁に洗えないことなどが挙げられる。

**親子支援プログラム
成果と今後の展開は**

問 親子支援プログラムの成果や改善に向けた今後の展開は。

答 一般向け、子どもへの関わりに悩む保護者向けなど対象別に、認知行動療法などに基づくプログラムを行っている。成果としては受講を通して参加者同士がつながり、自分一人が子育てに悩んでいるのではないことへの気づきや、子どもの行動に対する理

解の深まりから叱ることが少なくなつたなどの行動変容が挙げられており、良好な親子関係の形成に寄与しているものと考えている。今後は、育児不安を解消し子育ての楽しさを学ぶ場を広げるとともに、講座回数や開催場所を工夫していく。

**送迎バスでの
園児置き去り防止対策は**

問 令和5年度より、送迎バスでの園児置き去り防止用の安全装置の設置が義務づけられた。本市の設置状況と、事故防止に向けた今後の考えは。

答 本市の各施設では、バス乗降時の人数記録や欠席児童の把握を行っており、現時点では安全装置を設置している施設はないが、国のガイドラインや補助内容等が決定次第、設置支援を行っていく。また、置き去り防止には、安

全装置の設置とあわせ、職員等による目視・点呼などの点検、記録簿やマニュアルの整備、研修などの安全対策が必要であり、有効な取組事例やマニュアルの情報提供を行い、さらなる事故防止の徹底を図っていく。

**離婚後の面会交流支援の
取組みは**

問 民法改正により、離婚後の子の監護に関する事項として、親子の面会交流が明示されている。継続的な面会交流支援について、本市の考えと取組みは。

答 国が掲げる面会交流支援については、父母間で面会交流の取決めがあり、概ね15歳未満の子どもの面会交流を希望する別居親または同居親を支援の対象としている。面会交流支援の実施には、父母間の調整や子どもの受け渡し、付き添いの際の子どもの

心情に十分な配慮が必要と認識している。問題点や課題整理等を行うとともに、他市の取組状況も参考にしながら今後検討していく。

**子ども用補助便座等の
設置を**

問 公共施設や公園等のトイレにおいて、子ども用トイレや補助便座がないところで子どもたちが1人で用を足すことができない。解消に向けた市の見解は。

答 子育て・子育て支援の観点から、子どもが安全に1人でトイレを使用するために



子ども用補助便座

は子ども用トイレが必要となる。また、多目的トイレは、子どもが保護者に見守られながら安全に安心してトイレを使用でき、保護者もベビーカー利用の場合を含めて使用しやすいと考えられる。そのため、ニーズが見込まれる施設等においては、衛生面に十分に配慮した上で、多目的トイレに補助便座を設置するのが望ましいと考える。

水道料金の減免を

問 暮らしや営業を守るため、近隣市のように本市でも水道の基本料金の減免に踏み切るべきではないか。

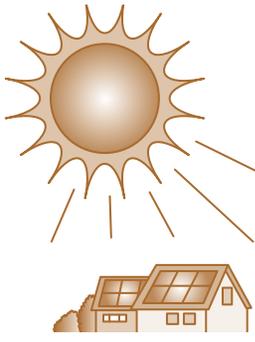
答 水道料金の減免については、水道事業は地方公営企業法の適用を受ける事業であり、市の一般会計からの負担による料金の減免は考えていない。

次世代エネルギーの活用は

問 次世代エネルギーである太陽電池を含めた新しい技術の進展に対する本市の認識は。また、蓄電技術についての見解は。

答 太陽電池をはじめ、環境分野における技術革新が進み市場へ広がっているため、その動きを注視しながら、2050年カーボンゼロに向けて取組みを進めていく。

また、蓄電池は災害時や停電時に必要不可欠なものとして、令和4年度から蓄電システムに対する支援補助を行っており、今後の技術開発に期待している。



若年層が住みやすいまちづくりの課題と取組みは

問 若年層が住みやすいまちづくりをめざす上での本市の課題認識や、そのための取組みは。

答 課題としては、空き家を含めた住宅の適切な管理や円滑な権利承継のほか、耐震化や老朽家屋の建て替えなどによる不燃化の促進など、住環境の安全性を高める必要がある。その取組みとして、昭和56年以前に建築された木造住宅等や、庄内・豊南町地区での老朽家屋の除却費補助を行い、土地利用の更新を促している。また、各駅周辺や道路の整備、学校再編などの施策を総合的に進めてまちの魅力を高め、民間事業者の住宅開発意欲を促進する「こども、若年世帯を含む新たな世帯の転入やまちの活性化に寄与する」と考える。

坂道への手すり設置の方針は

問 坂道を安全に上り下りするために手すりが欲しいと高齢者の声がある。手すりの設置についての方針は。

答 坂道への手すりの設置は、誰にとっても安全に通行する上で有効と考えており、市内各所で設置している。設置の考え方としては、道路の勾配が12%を超える区間が10メートル以上あること、沿道利用の支障とならないことなどを基本としているが、要望



坂道に設置された手すり(刀根山5丁目)

内容に基づき、個々の現場状況を調査して判断している。

MinaNotteの周知啓発と利便性向上の取組みは

問 南部地域乗合タクシー「MinaNotte(みなのつて)」の周知啓発と、利便性向上の今後の取組みは。

答 周知啓発については、庄内コラボセンター開設とあわせてルートの見直しや停留所設置を沿線自治会に示した後、新たなパンフレットとお試し乗車券を「広報とよなか」2月号とともに、沿線の市民に配付予定である。また、コ



乗合タクシーの停留所看板

ラボセンター開設後に意見交換会を開催予定であり、今後も周知啓発に努めていく。

利便性の向上については、利用増が見込まれる場合の車両の大型化や、学校跡地活用に伴う運行ルートの見直しなど、地域の意見も聞きながら検討していく。

带状疱疹ワクチン接種費用助成の考えは

問 带状疱疹ワクチン接種の費用助成に対する本市の考えは。

答 令和4年8月の国の審議会において、今後定期接種化を検討するワクチンの一つに带状疱疹予防接種が挙げられ、定期接種化に向け、期待される効果や導入年齢に関して検討が必要と課題整理されている。本市としても国の動向を見ながら対応すべきと考えており、引き続き国の審議内容を注視していく。



豊中市立火葬場

火葬場の建物や備品
改善の計画は

問 市立火葬場の建物が古く、外壁のひび割れや待合室の備品の老朽化が目立つ。また、受付の際にモニターから炉の中の様子が見えてしまうが、改善できないか。

答 施設の整備は火葬炉に関する設備修繕を優先的にしているが、フリーWiFiを設置するなど、利用者へのサービス向上に向け整備してきた。待合室等の建物修繕や備品の入れ替えについて

は、今後計画的に取り組んでいく。

建物の構造上、受付場所の変更は困難だが、配慮できる方法を検討していく。

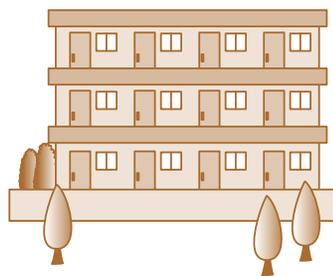
障害者の居住支援
差別解消の取組みは

問 賃貸住宅の入居に当たり、障害があることのみを理由に入居を拒むことは、差別であると考えますが、どうか。障害者差別解消支援地域協議会では、差別解消のためどのような取組みをしているのか。

答 障害者差別解消法では、正当な理由なく障害を理由として障害者の権利利益を侵害することを禁止しており、これに該当する場合は不当な差別的取扱いと考える。

障害者差別解消支援地域協議会では、相談事例部会において、障害者及び相手方から聴取した意見をもとに差別の

解消に向けた取組みについて検討を行う。また、対応事例を蓄積し、検証した内容を同協議会に報告し、課題解決に生かしている。



地域コミュニティ
課題解決に向けた取組みは

問 地域コミュニティは公民分館をはじめ、校区福祉委員会、自治会、自主防災組織など多岐にわたっており、担い手不足などの課題がある。組織の見直しも含め、考える時期なのではないか。

答 地域の担い手不足の課題については、解決手法の一つとして、さまざまな団体や

住民が知恵や力を持ち寄る地域自治システムの推進に取り組んでいる。地域自治組織を設立した校区では活動方法の見直しを行い、例えば、複数の団体が作成していた広報誌を一元化するなど、業務を整理し、活動の担い手の負担軽減を図っている。

本市としては、地域で活動する住民や団体が課題解決に向け一緒に取り組むことができるよう支援していく。

めざすべきチーム医療へ
人員配置の検討は

問 市立豊中病院の人員配置においては、総人数だけでなく、めざすべきチーム医療を行うには各専門職でどれだけのスタッフが必要なのかについて議論が重要になると考えるが、見解は。

答 在院日数の適正化に当たり、症例別の傾向分析を行った上で、チーム医療体制の

整備にかかる検討を進めている。また、医師の働き方改革の推進に伴い、医師の業務を他の職種へタスクシフト・タスクシェアする具体的な内容について、院内に設置したワーキンググループや検討部会により検討を進めている。これらの検討を通じて、それぞれの専門職で必要となる人数を算出し、今後の人員計画に反映させていく必要があると考えている。



掲載している質問をはじめ、各議員の一般質問はこちらからご覧いただけます。
(12月定例会録画配信)



常任委員会の視察報告

市政の課題研究や先進事例の調査を行うために、他都市への行政調査を行っています。視察後は本会議や委員会での質疑や意見に生かし、市政に反映していきます。視察報告書は市議会のホームページに掲載しています。



総務常任委員会 令和4年10月3日～4日

【高松丸亀町商店街振興組合(香川県高松市)】 商店街主導の再開発によって成し得た地域の活性化

▶内容 地元住民により設立されたまちづくり会社が、衰退した商店街の土地を60年定期で借地し、そこへ新たに魅力ある商業施設、住居、医療機関、広場などを戦略的に配置したことで、商店街はにぎわいを取り戻し、定住人口も増加した。

【瀬戸内ワークス株式会社(香川県三豊市)】 ローカルスタートアップの取組み

▶内容 地方での起業や移住を考えている人を三豊地域につなぐため、アルバイトや農業体験を通して地域と関わりを持つための滞在施設を運営するとともに、観光関連事業や起業講座等を通して地域の活性化や人材不足解消に寄与する。

建設環境常任委員会 令和4年10月6日～7日

【東京都武蔵野市】 むさしのエコreゾート

▶内容 市民、事業者、行政など多様な主体が協働して環境啓発施設むさしのエコreゾートを設置。環境問題をさまざまな観点から考え学ぶ「環境の学校」など市民参加の機会を提供し、持続可能なまちづくりをめざす。

【静岡県三島市】 マンホール聖戦in三島 など

▶内容 マンホールの劣化状況を把握するため、アプリを活用し、街中のマンホールの写真を集める市民参加型イベントを実施。マンホールへの関心を高め、下水道に対する理解促進を図った。

文教常任委員会 令和4年10月4日

【東京都武蔵野市】 武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス

▶内容 図書館、生涯学習支援、青少年活動支援、市民活動支援の機能が融合された施設として設置。駅前の立地を生かし、隣接する公園との一体的な取組みを進める中で、まち全体のにぎわいを創出する。



市民福祉常任委員会 令和4年10月6日

【愛知県蒲郡市】 中学生ピロリ菌検査事業

▶内容 中学1年生の健診時の血液検査にピロリ菌の項目を追加し、検査・除去費用は全額公費負担の事業を実施。感染率の低い中学生の時期に除去し、がん教育の推進や保護者への除去勧奨を行い、胃がん撲滅をめざす。

オンライン診療服薬指導実証実験、オンライン保健事業

▶内容 令和2年11月から令和3年3月まで、オンラインによる診療・服薬指導等の普及啓発や、保健指導等の取組みを実施し、関係機関によるワーキング会議で実証・検証や情報交換等を行った。

市議会からのお知らせ

●インターネット中継をご利用ください

市議会のホームページでは、本会議、常任委員会及び議会運営委員会の模様をパソコン及びスマートフォン向けに生中継で配信しています。また、録画中継は約1週間後からご覧いただけます。



●詳しくは会議録をご覧ください

市議会では、本会議と委員会の会議録を作成しています(約3か月かかります)。市政情報コーナー(第二庁舎4階)、図書館などで閲覧できます。また、市議会のホームページの「会議録検索」でも公開しています。



●3月定例会(予定)

本会議での代表質問については、希望者に手話通訳と要約筆記(ノートテイク)を行います(要申込み)。委員会の日程など詳しいことについては、市議会事務局(TEL6858-2633)へ問い合わせてください。

2月24日(金)	午後1時	本会議(初日)
3月3日(金)	午前10時	本会議(代表質問)
3月6日(月)	午前10時	本会議(代表質問)
3月7日(火)	午前10時	本会議(代表質問)
3月22日(水)	午後1時	本会議(最終日)

※日程は変更になる場合があります。

とよなか 市議会のうごき

第275号 令和5年(2023年)2月1日

発行・編集 豊中市議会報編集委員会

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1 TEL 6858-2633 FAX 6846-5525

市議会のホームページアドレス

<https://www.city.toyonaka.osaka.jp/shigikai/>

豊中市議会

検索



パソコン、スマホ、タブレットでも読める

カタログポケット

- 文字サイズを調整できる
- 音声読み上げができる
- 多言語で読める【日本語、英語、中国語(簡体・繁体)、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、タイ語】

Webのほか、デジタルブックアプリ Catalog Pocket をダウンロードして見ることもできます。デジタルブック版はこちらから▶

